

平成22年度小松島市事務事業評価シート

事業の位置づけ（基本事項）				整理番号	6 - 1 - 27
事務事業名	ミリカホール運営事業			担当課係	健康増進課 保健センター 管理係
総合計画上の位置付け	大項目	5. 「日（いとなみ）が輝く」		記入担当者	
	中項目	伝統・文化の継承・発展とスポーツの振興		内線等	
	小項目	2. 市民文化と芸術の振興		E-mail	
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）			事業区分	経常事業
事業予算費目	款	4	衛生費	項	1
	目	7	ミリカホール費	事業	
開始年度	平成	11	年度	根拠法令・要綱等	小松島市多目的ホール条例
1.ホール運営委員報酬 2.臨時職員等賃金 3.施設管理運営費					

事務事業の概要（実施内容）

事業の対象	（誰の、何のために事業を実施するのか） 小松島市の全市民を対象に、ミリカホールの健全な運営を実現させるため。
事業の目的 （意図）	（事業実施によってどういう状態にしたいのか） ホールを訪れる人が、心地良く、満足していただけるような施設づくりを目指し、ホールをより魅力的に、より安全に、より快適なものとする。
事業の内容 （内容・手法等）	（どういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか） ホールの有るべき姿をホール運営委員会で協議し、その実現に向けて施設・設備の維持管理に努める。定期保守点検を実施し、事故防止に努め、安全で快適な環境を整えていく。
事業の背景 （経緯等）	（事業開始の背景やこれまでの経緯） ホール運営は専門的知識も必要であり、その分野の有識者で組織されたホール運営委員会を年1回のペースで開催している。また、施設・設備は築11年を経過し、至るところで補修を要する状況になりつつあるため、必要性・緊急性を見極め、優先順位の高いものから、計画的に改修を行っている。

事務事業の業績・推移（目標・実績）

		指標名		指標の説明				指標化できない成果
		施設利用日数		自主事業・貸館事業での延べ利用日数				
成果指標	単位		H21	H22	H23	H24	将来目標 (年度：平成) 開館日数×50% 各年度	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の安全性 ・ホールの快適性、信頼性 ・利用者満足度
	日	目標	153	153	153	153		
		実績	173	144				
		達成度	113.1%	94.1%				
活動実績・参考となる指標	指標名		単位	H21	H22	H23	H24	指標の説明
	ミリカホール使用料収入		円	計画 2,950,000 実績 4,103,738	3,600,000 3,681,214	3,653,000	3,653,000	
	自主事業延べ利用日数		日	計画 25 実績 25	20 20	20	20	自主事業での利用日数
	貸館事業実績延べ利用日数		日	計画 128 実績 148	133 124	133	133	貸館事業での利用日数
				計画				
				実績				

事務事業に係るコストの業績（目標・実績）

（単位：円）

		21年度決算	22年度決算	23年度決算	22年度予算		
全体コスト（円）	関連事業費	A 直接事業費	17,637,990	18,785,407	0	18,898,000	
		財源内訳	財源内訳	0	0		
			国県支出金	0	0		
			地方債	0	0		
			利用者負担	4,103,738	3,681,214		
		一般財源	13,534,252	15,104,193			
		B 人件費 ×	6,311,270	6,131,203	0		
		職員平均人件費	7,012,522	6,812,448			
		従事した割合 人	0.9	0.9			
		A + B	23,949,260	24,916,610	0		
単位コスト	活動指標の説明	全体コスト/開館日数(307日)	全体コスト/開館日数(307日)		備考		
	活動指標 1 単位当たりコスト	78,011	81,162		平成21年4月1日現在 人口41,778人		
	市民一人あたりのコスト	573	600		平成22年4月1日現在 人口41,507人		

事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺の状況等や今後の予測) ホールの運営については、建物・設備の維持管理費に多額の費用を要するため、全国的に非常に厳しい状況が続いている。今後もこの状況は変わらないと考えられるため、収支を正確に把握し、計画性のある健全な運営を実施することが重要である。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) ミリカホールの平時の運営については、適正な運営が行われており、現状では特に要望・苦情等は寄せられていない。

項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果(該当にチェック)	判断理由・評価コメント(具体的に記入すること)
必要性 (市民ニーズ)	必要性が高い	ホールの健全な運営を実現するため、有識者で組織するホール運営委員会にて重要事項を審議し、ホール運営の適正化を図るとともに、ホール及びその設備の保守点検、維持管理に努めることが重要である。
	どちらかといえば必要性がある	
	必要性が低い	
	必要性がない	
妥当性 (市で行わなければならないか)	市が行わないといけない	建物・設備の管理については、保健センターとの複合施設であることから、経済性・効率性の面で、市で一括して行うことが妥当である。
	どちらかといえば市で実施	
	必然性が低い	
	必然性がない	
効率性 (事業の手法は効率よいが、コスト削減の余地はないか)	効率的である	ミリカホール運営に係る事業費の大きな割合を占める保守点検等の委託業務については、3年間の長期契約により委託料の削減に努めており、光熱水費やその他の経費についても、必要最低限のものであり、効率的な運営が実現されている。
	どちらかといえば効率的	
	どちらかといえば非効率的	
	非効率的	
緊急性 (他事業に優先し、実施する必要があるか)	緊急性が高い	施設の修繕等については緊急性が高いものがあるが、運営委員会の開催、設備の保守点検等については途切れることなく継続していくことが重要である。
	比較的緊急性がある	
	緊急性が低い	
	緊急性はない	
成果 (目的の達成状況)	成果が上がっている	ホールの運営に関しては、適正に実施されており、運営に係る事業費も可能な限り切り詰められており、効率化が図られている。
	どちらかといえば上がっている	
	どちらかといえば上がっていない	
	成果は上がっていない	
今後の課題	施設・設備に老朽化・劣化が生じてくる年数となり、部品交換・オーバーホール等の維持管理に多額の費用が必要となってくることが考えられる。	

一次評価(評価点は目安とし、総合的な評価をすること)

評価	事務事業の方向性	評価点による判定		判定に至った理由
		評価点	判定	
2	1 拡 充 す る	80点以上	2	施設・設備の維持管理に努め、事故・トラブルの発生を未然に防ぐことは、ホール運営管理者としての最低限の責務であり、ホールの安全性・快適性を確保していくためにも、今後も継続して実施していかなければならない。また、ホール運営の適正化を図るため、ホール運営委員会の開催は必須であり、有識者の意見を汲み入れ、文化・芸術の振興に役立てていくことが重要である。
	2 現状のまま継続する	60～79点		
	3 改善・効率化し継続	50～59点		
	4 見直しの上縮小する	40～49点		
	5 終期設定し終了	30～39点		
	6 休 止	20～29点		
	7 廃 止	19点以下		

改善・効率化・見直しの方向性 一次評価の判定が3・4の時は、必ず記入すること。

【具体的な改善等取組内容(方向性・対象・手段等について記述)】

建物・設備の劣化状況を把握し、改修時期を見極め、計画性のあるホール運営に努める。

二次評価(所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること)

評価	事務事業の方向性	判定説明
2	1 拡 充 す る	ミリカホールは小松島市の芸術・文化の振興の拠点となるべき施設であり、テレビ・インターネットの普及に伴い、直に音楽・芝居等に触れる機会が少なくなっている現在の状況を憂慮する中で、その役割は今後ますます重要なものになってくるであろうと考える。ホールの在るべき姿を有識者による審議機関で協議し、それを実現するために安全・快適なホール環境の整備を進めていくことが今後も重要である。
	2 現状のまま継続する	
	3 改善・効率化し継続	
	4 見直しの上縮小する	
	5 終期設定し終了	
	6 休 止	
	7 廃 止	